

看護研究入門

ナンバリング:N3-S1-J05

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

エビデンスに基づいた看護ケアを学ぶ上で必要となる看護研究論文を読むために必須な文献講読の基礎的能力を身に付け、併せて研究のプロセスを理解することを目的に看護研究の基礎を学ぶ。また、看護研究論文を実際に読みこなすことで、研究目的とそれを明らかにする方法、さらに結果の解釈から考察を読み解き、看護研究の必要性と可能性について学びを深める。

・教育成果(アウトカム)

看護研究の目的と役割、ならびに研究倫理への洞察を深める。同時に、量的・質的研究の構成、文献検索、文献レビュー作成、基本的な統計分析および質的データ分析スキルを身に付け、看護研究における批判的思考と分析能力を修得する。これらの知識とスキルは、将来の自立した研究活動のための重要な基盤となる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
---	---

・到達目標(SBO)

1. 看護研究の役割・意義、研究倫理について理解できる。
2. 看護研究のデザインと適用、研究的手法について理解できる。
3. 文献検索の方法を習得し看護研究論文を講読できる。
4. 看護研究論文の構成を理解し批判的分析ができる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチメディア教室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 火 1限	<p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の目的、意義、役割 <ol style="list-style-type: none"> ①看護研究が患者ケアの質を向上させる方法 ②研究によるエビデンスベースプラクティス(EBP)の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・看護研究の基本的な目的と役割について説明できる 2. 研究疑問(リサーチクエスチョン)とは <ol style="list-style-type: none"> ①看護現場で遭遇する問題からリサーチクエスチョンを導き出す方法 ②リサーチクエスチョン設定の重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・看護課題から有効なリサーチクエスチョンを作成する基本的な方法を説明できる 3. 研究デザインの種類と特徴 <ol style="list-style-type: none"> ①量的研究と質的研究の違い ②各デザインの選択基準と具体例 <ul style="list-style-type: none"> ・量的研究と質的研究の基本的な特徴と適用方法を列挙できる <p>【関連するSBO】1 【事前学修:60分】関心ある医療に関するニュース・トピックス、実習中に気になったことや疑問等をまとめる 【事後学修:120分】具体的なリサーチクエスチョンを「1つ」考え、なぜその疑問が浮かんだのか、その疑問をどのようにすれば解決できるのかを考えまとめる</p>	地域包括ケア講座 野里 同 准教授

<p>4/22 火 4限</p>	<p>【授業内容】 1. 看護研究の倫理的問題 ①研究倫理の基本原則(被験者の権利保護、情報の機密性等) ②看護研究における倫理審査の重要性 ・看護研究における倫理的配慮についての基本的な考え方を説明できる 2. 文献検索の方法 ①看護研究における主要なデータベースの紹介(医中誌を中心に、PubMed、CINAHLなど) ②キーワードの選定と論文検索のテクニック ・看護研究に関連する文献を効率的に検索できる 【関連するSBO】1、2、4 【事前学修:120分】看護研究のための倫理指針(国際看護師協会:日本看護協会訳)「2. 研究の健全性」を読み、<研究のデータの捏造や改ざん>が6つの原則のうち、「真実」の原則にどのように反するのかを考えまとめる 【事後学修:120分】研究倫理のケーススタディ(事例集)を読み、事例の倫理的問題や正しい対応についてまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授</p>
<p>4/25 金 3限</p>	<p>【授業内容】看護研究で用いられる基本的な統計的手法 ①記述統計:平均、中央値、モード、標準偏差など ②推測統計:t検定、カイニ乗検定、相関分析など ③データの視覚化:グラフや表の見方と作成方法 ・看護研究でよく用いられる統計的手法の基本を理解できる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修:60分】教科書の「初学者にもできる統計的手法を使った分析はどうやるの?(p98-110)」を読み、要約する 【事後学修:120分】 ・授業内で提示するデータを用いて基本的な統計的分析を行い、その結果を解釈する ・自身の関心がある看護研究テーマに合わせて、どの統計的手法が適切かを考え、その理由をまとめる</p>	<p>地域包括ケア講座 野里 同 准教授</p>
<p>5/15 木 4限</p>	<p>【授業内容】量的研究論文の基本構成 ①はじめに:研究の目的、背景、仮説の紹介 ②方法:研究デザイン、参加者の選定基準、データ収集方法、統計分析方法 ③結果:数値データの結果、表やグラフによる結果の提示 ④考察:研究結果の解釈、研究の限界、意義 ⑤結論:研究の要約、実践や理論への応用 ・量的研究論文の基本的な構成と各部分の目的・役割を理解できる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修:60分】教科書の「2 量的研究とその研究デザインはこう使おう(p61-98)」を読み、要約する 【事後学修:120分】授業内で提示する文献を読み、「データ収集法、データ分析法、結論の要約」をまとめる</p>	<p>地域包括ケア講座 野里 同 准教授</p>
<p>5/26 月 2限</p>	<p>【授業内容】 1. 質的研究論文の基本的構成 ①はじめに:研究の目的と背景の紹介 ②方法:どのようにデータを集めるか(インタビューや観察など) ③結果:集めたデータから分かったこと ④考察:研究結果が何を意味するかの解説 ⑤結論:研究の要点のまとめ ・質的研究論文の基本構成と各部分の目的・役割を理解できる 2. 質的研究論文の読み方 ①どの部分が重要か、どう読むかの基本的なポイント ②研究がどのように看護実践に役立つかの考察 ・質的研究論文を読み、重要なポイントを把握できる 【関連するSBO】2、3、4 【事前学修:120分】教科書の「3 質的研究とその研究デザインはこう使おう(p111-127)」を読み、要約する 【事後学修:120分】授業内で提示する文献を読み、「データ収集法、データ分析法、結論の要約」をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 伊藤 奈央 准教授</p>
<p>6/2 月 4限</p>	<p>【授業内容】 1. 看護論文の読み方 ①クリティークとは ②クリティークの視点(評価確認項目) ・クリティークの目的とその方法を説明できる 【関連するSBO】3 【事前学修:120分】 ・検索語を使用して文献検索を行い、授業内で提示するテーマに関連する論文を2本以上選出する(論文の記載方法については授業内で説明する) ・選出した論文のうち1本を選び、その内容を要約する 【事後学修:120分】授業で学んだ内容を基に、事前学修で検索した論文のクリティークを行う</p>	<p>地域包括ケア講座 野里 同 准教授</p>

6/19 木 2限	<p>【授業内容】論文の構成と内容のクリティーク</p> <p>①論文の構成と評価の視点</p> <p>②研究の方法、結果、考察の批判的分析(クリティーク)</p> <p>・選定した論文の構成と内容をクリティークし、その質を評価できる</p> <p>【事前学修120分】</p> <p>・論文検索のための準備:自分の関心があるテーマに関連するキーワードを選定する</p> <p>・キーワードをもとに論文検索を行い、関心のあるテーマに関連する「量的研究論文」を1本選定し、コピーする</p> <p>【事後学修120分】授業の内容を振り返り、自身のクリティークに修正を加え、演習シートに記載する</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>地域包括ケア講座</p> <p>野里 同 准教授</p>
6/23 月 2限	<p>【授業内容】論文の構成と内容のクリティーク</p> <p>①論文の構成と評価の視点</p> <p>②研究の方法、結果、考察の批判的分析(クリティーク)</p> <p>・選定した論文の構成と内容をクリティークし、その質を評価できる</p> <p>【事前学修120分】</p> <p>・論文検索のための準備:自分の関心があるテーマに関連するキーワードを選定する</p> <p>・キーワードを基に論文検索を行い、関心のあるテーマに関連する「質的研究論文」を1本選定し、コピーする</p> <p>【事後学修120分】授業の内容を振り返り、自身のクリティークに修正を加え、演習シートに記載する</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>地域包括ケア講座</p> <p>野里 同 准教授</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	かんたん看護研究 改訂第2版	桂敏樹・星野明子	南江堂	2020
推	文献レビューのきほん-看護研究・看護実践の質を高める	大木秀一	医歯薬出版	2013

・成績評価方法

<p>【総括的評価】</p> <p>授業内で作成した成果物、事前・事後課題にて評価する。評価基準については、初回授業で提示する。</p> <p>【形成的評価】</p> <p>各授業内に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。</p>
--

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <p>授業内で作成した成果物は、最終授業終了時に提出を求め、コメントを付して返却する。授業に関する質問はSlidoを活用し、その中でも全体に伝えるべき内容は、次回の授業もしくはWebClassでフィードバックする。</p> <p>【その他】</p> <p>各回、学生同士でディスカッションする時間を設け、全体および個々の理解を深める。能動的学習のため、スマートフォン等を用い、双方向型授業ツールとして「Slido」を利用する。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影